

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習センターESCO事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進	主管課長	玉田 雅則				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習センターの空調設備・照明設備	意図	ESCO事業により老朽化した設備を更新し、安定した施設環境を得ながら、環境負荷の大幅な削減・コスト削減等を図る。
事業内容	ESCO事業により、最新の空調設備・照明設備を導入し、かつ設備保有リスクESCO事業者へ転嫁することで、管理者は施設経営に集中することが可能となり、更なる施設サービスの向上が期待できる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年度にESCO事業の工事が行われ、平成26年度からESCO事業により更新した設備が稼働し、光熱水費を大幅に削減することができている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	生涯学習センターの年間光熱水費	17,905	12,510	11,175	千円
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 生涯学習センターの指定管理者から報告された決算書の光熱水費は、平成26年度は12,510千円、平成27年度は11,175千円で1,335千円の削減となった。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			17,634,051	17,820,051			
事業費(b)(円)			15,561,051	15,561,051			
うち一般財源			15,561,051	15,561,051			
職員給与費(c)(円)			2,073,000	2,259,000			
人役・職員(人)			0.30	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	平成27年度で指定管理期間が終了となることから、平成28年度からの指定管理者選定更新にあたり指定管理料を見直す。	③取組の課題	環境負荷をさらに削減すること。
②今年度(H27)に実施した取組	ESCO事業者による光熱費の更なる削減。	④今後の改善計画	ESCO事業により光熱費の削減を図り更なる施設サービスの向上。